

測量

0007

軍務第一七〇號

機密

軍務局長

機密

水機第一四八號

大正八年四月一日

水路部長 布目滿

海軍省軍務局長 井出謙治殿

第一課長

局長

局員

測量ニ關スル件

本件ニ關シ別紙ノ通り大和艦長へ訓令致候

右通知ス

第一班班長

別紙ニ葉附圖壹葉添

通知先吳鎮守府

8.4.9

海

軍

8.4.9

軍務局長 0008

（水機第一）

終



海軍

(矢野橋)

大正八年四月一日

水陸部長 布目滿造

大和艦長 松山 廉介 殿

測量ノ件

一其艦ハ測量準備完成次第吳山港對馬水道東方日本海沿岸ノ餘洲ニ從事スヘシ

二餘洲區域ハ別圖ノ如シ

但シ圖示區域内ニ於テ百尋界ヲ得ル能ハサルトキハ適宜區域ヲ擴大スヘシ

三餘洲作業ニ關シテハ左ノ通り心得フヘシ

(一) 可成西方ヨリ整理ス

(水陸部)

0009

海軍

(矢野稿)

(二) 鎌湖間隔ハ既湖地粗密ノ程度ヲ標準トス

(三) 海底不整ナル箇所故ニ其附近ハ精測ス

右ノ如ク標準ヲ示スト雖トモ時宜ニ應シ適宜斟酌スル事ヲ得

四事情許ス限り左記ノ測定ヲ行フヘシ

(一) 黒潮支流上ニ於テ海流測定

(二) 別圖記載ノ箇所附近ニ於テ水面下二十五尋五十尋百尋及海底ニ

於ケル海水温度故ニ比重測定

五水路誌材料トナルヘキモノハ勉メテ蒐集シ報告スヘシ

六適當ノ時機ニ於テ右作業ヲ中止シ吳海軍港務部ニ保管委託中ノ當部測

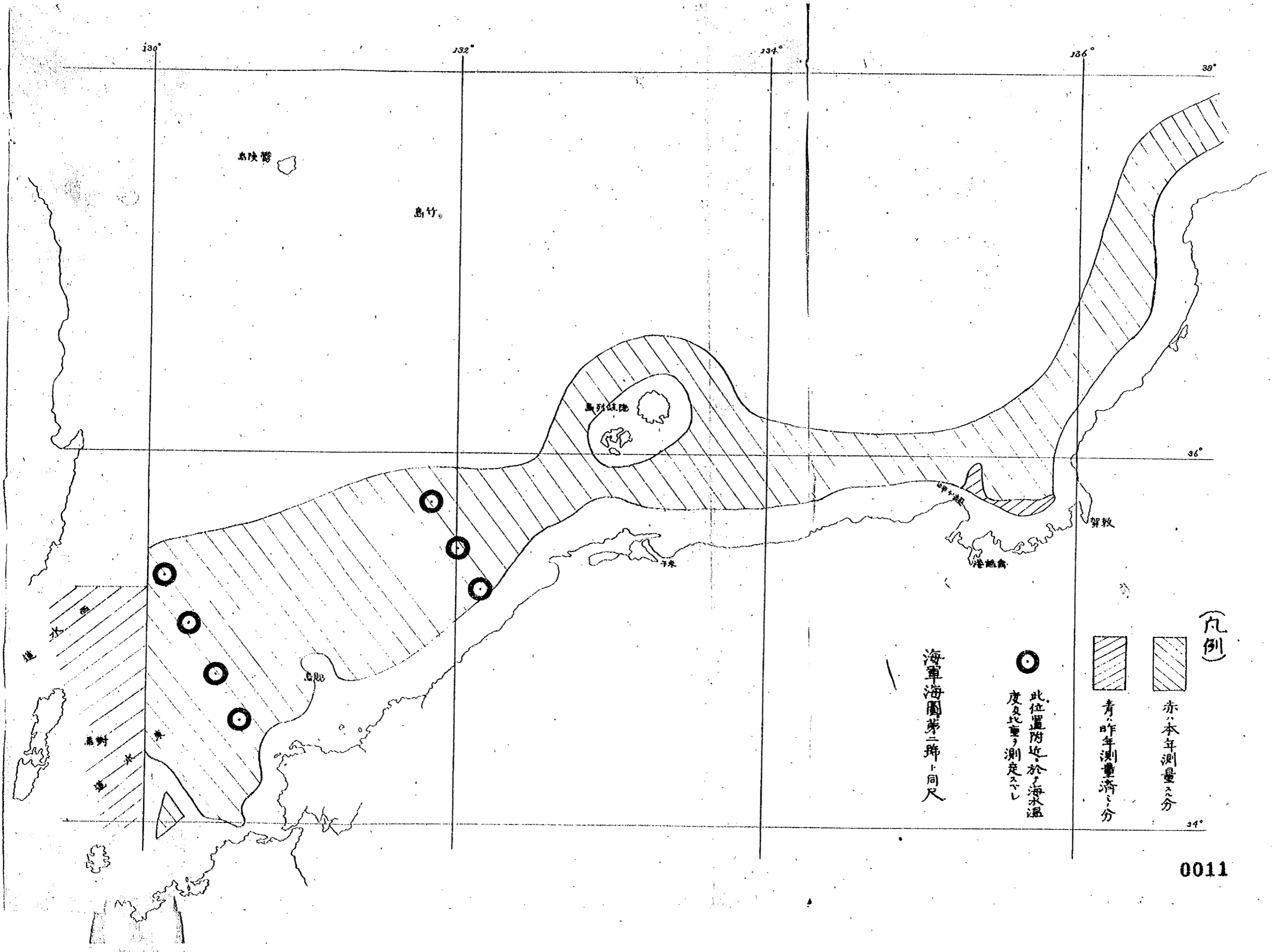
量機四隻ヲ搭載シ五月十五日迄ニ横須賀ニ廻航シ後命ヲ待ツヘシ

七右任務中ノ行動豫定及發着ヲ報告スヘシ

右訓令ス

(終)

(水陸部)



大

軍務局長

機密

機密第四九部二

大正八年四月一日

水路部長 布目

海軍省軍務局長 山藤治殿

湖島第一課長 湖島ニ關スル件

本件ニ關シ別紙ノ通り武藏艦長へ訓令致候

右通知ス

第一班

(別紙) 第二班

角知先横須賀鎮守府

終

機密第七號

水路部

軍務局接

8. 4. 9

部令第 8. 4. 9 號

0012



海軍

(矢野稿)

大正八年四月一日

水 路 部 長 布 目 滿 造

武藏艦長 前 川 義 一 殿

湖 量 ノ 件

一、其艦六湖量準備完竣次第横須賀出港本州東岸ノ鍾湖竝ニ伊豆南端ヨリ青ヶ島ニ至ル間ノ海洋諸元調査ニ従事スヘシ

二、鍾湖區域ハ別圖ノ如シ

但シ圖示區域内ニ於テ百尋界ヲ得ル能ハサル時ハ適宜區域ヲ擴大スヘシ

三、鍾湖作業ニ關シテハ左ノ通り心得ヘシ

(一) 可成南方ヨリ整理ス

(水路部)

0013

海軍

(矢野浩)

- (二) 鍾測(附)間ハ既測地粗密ノ程度ヲ標準トス
- (三) 海底不整ナル箇所竝ニ其附近ハ精測ス
- (四) 右ノ如ク標準ヲ示スト雖トモ時宜ニ應シ適宜斟酌スル事ヲ得
- 四、海洋諸元調査ハ別紙要領ニ基キ施行スヘシ其際當部測量科科員重松海軍少佐ヲ其艦ニ出張セシメ作業ヲ補助セシム
- 五、鍾測作業ニ從事中事情許ス限り左記ノ測定ヲ行フヘシ
  - (一) 寒流及暖流ノ流域上ニ於テ海流測定
  - (二) 別圖記載ノ箇所附近ニ於テ水面下五十尋百尋二百尋三百尋五百尋ノ海中溫度竝ニ比重測定
- 六、水路誌材料トナルヘキモノハ勉メテ蒐集シ報告スヘシ
- 七、適宜ノ時機ニ於テ右作業ヲ中止シ五月十日迄ニ横須賀ニ歸港シ後命ヲ待ツヘシ
- 八、右任務中ノ行動豫定及發著ヲ報告スヘシ

(水路部)



右  
訓  
令  
ス

海  
軍

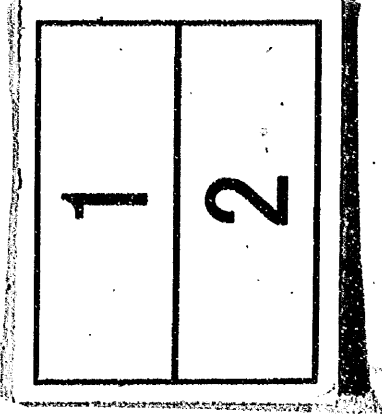
(矢野納)

(終)

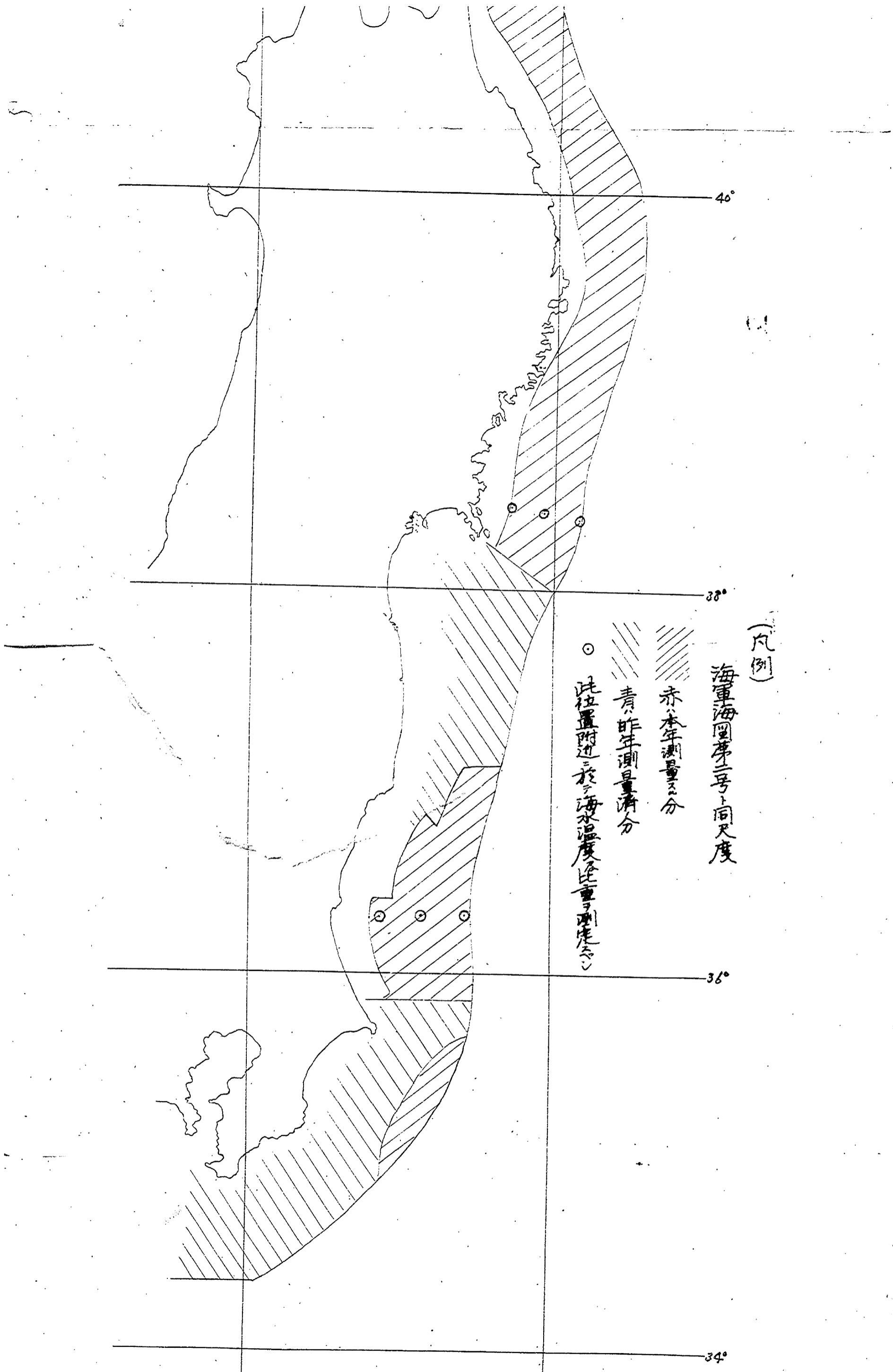
(永  
時  
部)

0015

# 分割撮影ターゲット

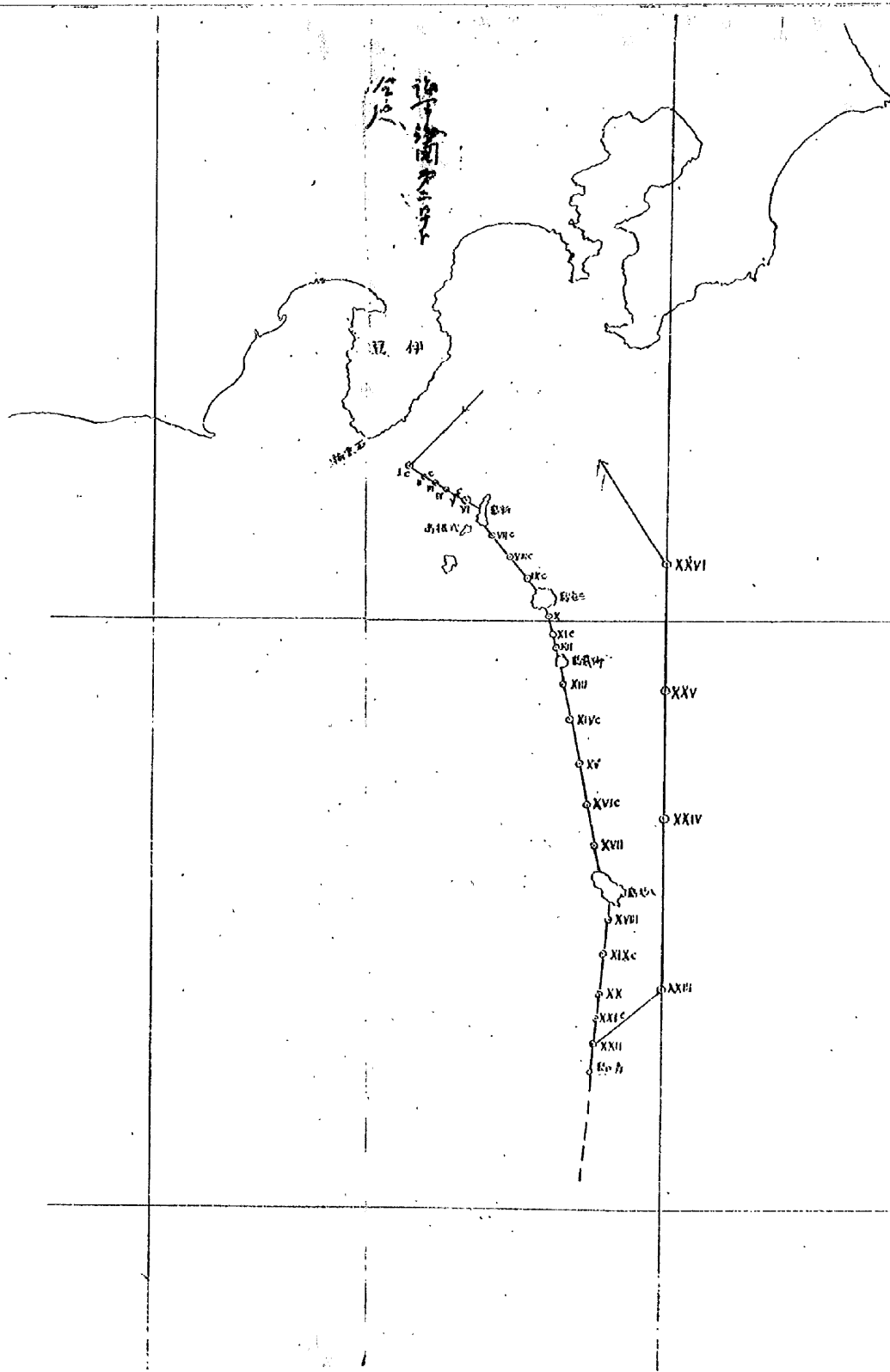
分割した 部分の 撮影順序	
分割撮影 した理由	A 3 判 以 上 の た め
上記のとおり分割撮影した事を証明する。	





海洋諸元調査要領

- 一、黒潮ノ流域ニ於テ海洋諸元ノ観測ヲ行フ（附圖参照）
- 二、作業豫定日數五月一日ヨリ約十日間
- 三、縦横數字ヲ以テ示シタル位置ハ豫定観測位置ヲ示ス
- 四、豫定観測位置ニ於テ表面、水面下二十五等五十等百等二百等三百等五百等ニ於ケル水温比重ヲ測定ス
- 五、Cヲ附シタル位置ニテ表層海流及下層ニ於ケル海流ヲ測定ス  
表層海流測定ニハ浮標下層海流測定ニハ「エクマン」流速計ヲ用ユ
- 六、場合ニヨリ青ヶ島南方ニテ観測ヲ行フコトアルヘシ



伊豆諸島元朝要領附録  
 小島比呂多ノ島

0019

軍務第一七二號

機密

軍務局長

機密

機密第五〇番

大正八年四月一日

水路部長 布目 滿

海軍省軍務局長 井山謙治殿

局長

測量ニ關スル件

本件ニ關シ別紙ノ通り松江指揮官へ訓令致候

右通知ス

第一班

別紙第三班

南知先 横濱鎮守府臨時南洋艦隊

海軍省

海軍省

水路部

8.4.9 受檢

海軍

軍務局接受

8月2日

0020



海軍

(矢野傳)

大正八年四月一日

水給部長 布目滿造

松江指揮官 藤井 雅殿

測量ノ件

一、其船ハ測量準備完成次第横須賀山港占領南洋群島ノ測量ニ従事スヘシ

二、測量期間ヲ左ノ二期ニ區分ス

第一期四月上旬横須賀山港「マーシャル」群島方面ノ測量ヲ終了シ  
十月中旬横須賀歸港

第二期十二月上旬横須賀山港カロリン、マリヤナ兩群島方面ノ測量  
ヲ終了シ大正九年三月中旬横須賀歸港

(永辭部)

0021



海軍

(矢野博)

三、測量區域ハ別圖ノ如シ									
四、調製スヘキ圖種竝ニ尺度等左ノ如シ									
第一	期	測	量	區	域	圖	種	圖	積
									尺
									度
									記
									事
一	アイリンラブラブ一名オヂア	總圖全	紙約〇、七吋	狀況ニ應シ適宜變					
		分圖二分ノ一	約二、三吋	更スル事ヲ得					
一	ミレ島附ノツクス島	總圖全	紙約一吋						
		分圖二分ノ一	約二吋						
一	マロエラブ島及アウル島	總圖全	紙約〇、五吋						
		分圖二分ノ一	約一、三吋						
一	リキエブ島	總圖全	紙約一吋						
		分圖二分ノ一	約二、三吋						
		分圖四分ノ一	約二、五吋						

(永路部)

0022

海軍

(矢野精)

第二期測量區域其他ニ關シテハ追テ訓令ス

五、經緯度及基線ハ測定ノ上決定スヘシ

但シ經度ハ船橋無線電信所ノ報時信號ニヨリ其經差ヲ測定スヘク若シ能ハサルトキハ經線儀運搬法ニヨルヘシ

六、事情許ス限り左記ノ測定ヲ行フヘシ

一、陸上諸島各地適宜ノ箇所ニ於テ磁氣三要素

二、適宜ノ箇所ニ於テ海流測及潮流測並ニ航路上ニ於ケル深海餘測

三、横須賀ヨリ「トラツク」島ニ至ル航路上ニ於テ北緯二十度十五度及「マーシャル」群島方面ニ於テ北緯十五度十度五度附近ニ

於テ水面下五十尋百尋二百尋三百尋四百尋五百尋ノ海水溫度並ニ比重測定

四、次ニ記載スル諸島ノ經緯度並ニ錨地附近ノ略測及其環礁外約一

二周ノ餘測

(水路部)

0023

海軍

(矢野稿)

ナモリツク、エボン島、キリ島、アウル島、アイルツク島、ウチリク島、ピカル島、ガスバルリコタオンギ島、メジツト島

七、第一期測量ニ使用スヘキ測量艇ハ發動機付四隻測量艇三隻トス

但シ測量艇三隻ハ「ヤル」守備隊ニ委託保管中ノモノヲ以テシ他ハ横須賀海軍港務部ニ委託保管中ノモノヲ運搬使用スヘシ

八、第一期測量後測量艇ハ左ノ通り整理スヘシ

一 測量艇ニ使用ノ爲メ「トラツク」守備隊ニ託シ最近便ニテ「ヤツ」島ニ輸送ノ方法ヲ講シ置クヘシ

二 殘餘ノ艇ハ凡テ横須賀ニ運搬スヘシ但シ搭載ニ支障アラハ測量艇ハ最近便ニテ横須賀ニ送還ノ手續ヲナスヘシ

九、水路誌材料トナルヘキモノハ勉メテ蒐集シ提出スヘシ

十、測量任務中行動豫定及發着ヲ報告スヘシ

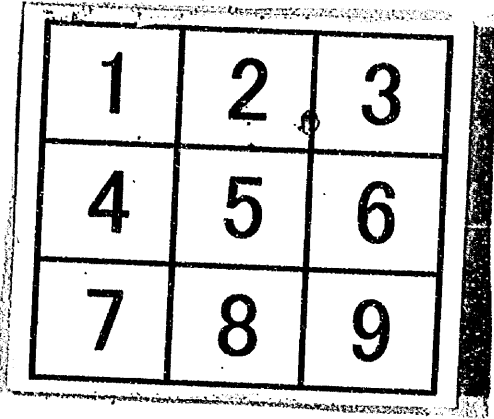
右訓令ス

(終)

(水路部)

0024

# 分割撮影ターゲット

分割した 部分の 撮影順序	
分割撮影 した理由	A 3 判 以 上 の た め
上記のとおり分割撮影した事を証明する。	

0025  
0026  
0027  
0028  
0029  
0030  
0031  
0032  
0033



From British Admiralty Chart N° 781, pub. Mar. 1875, 1250 correction June 1912.  
The adjacent seas of Japan and China are corrected from the latest information.  
blu, blk. Mud, br. brown, c. coarse, cl. clay, cor. coral, d. dark, f. fine, g. gravel, gl. globigerina,  
grl. ground, gr. grey, h. hard, m. mud, mang. manganese, oz. ooze, p. pumice, r. rock,  
s. sand, sh. shells, st. stones, vol. volcanic, w. white, y. yellow.

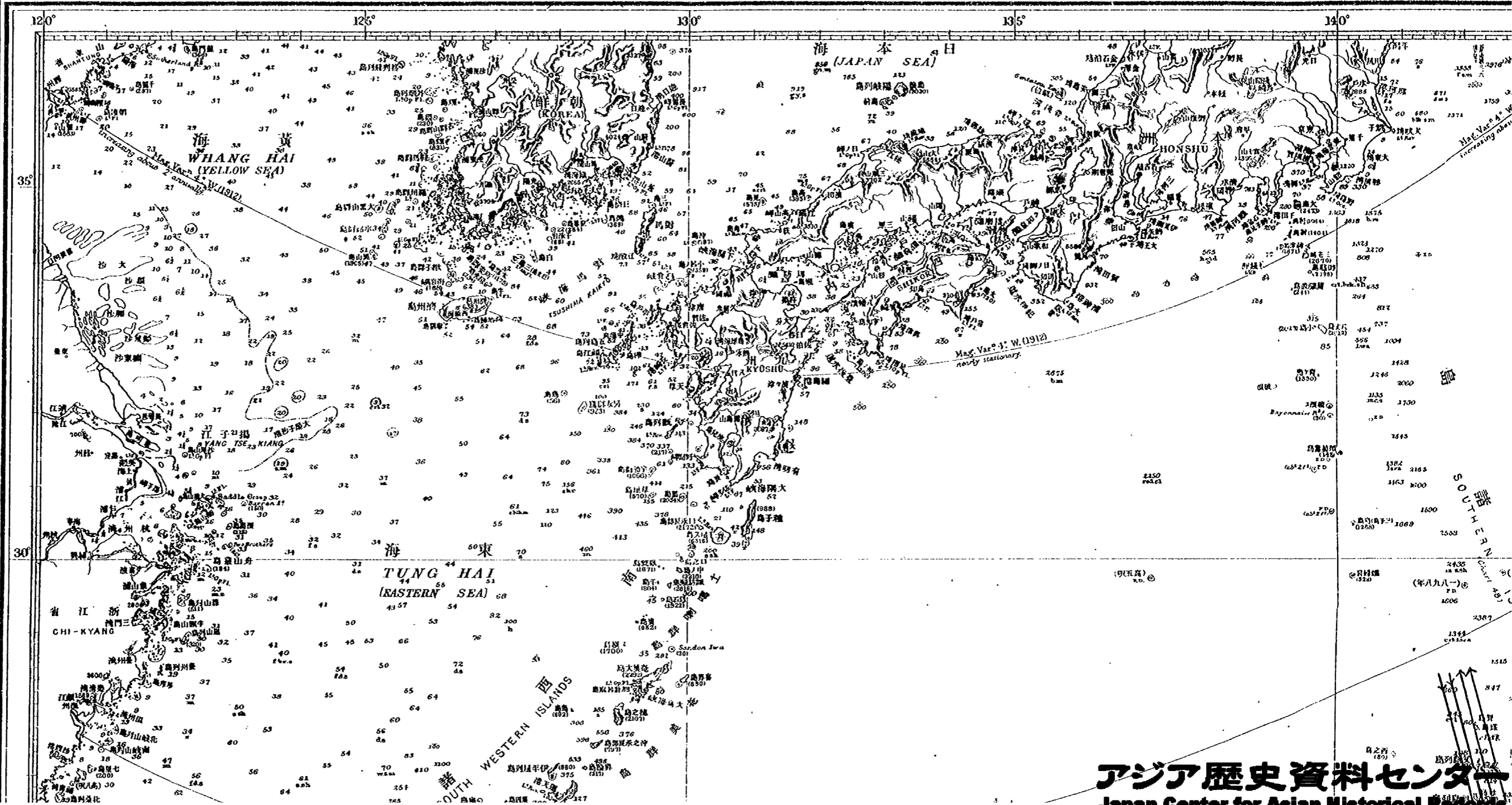
PACIFIC O

本圖ハ一八七五年三月出版一九二二年六月大改正ノ英海  
軍海圖第七八一號ニ因ル  
原圖ハ一八八一年迄ノ英水路部最近ノ諸測量ヨリ編成ス  
但シ日本及支那近海ハ新資料ニ據リ改補ス

高低用吹  
深淺用等

底質  
浮石  
岩  
砂  
殼  
石  
火山質  
白色  
黄色

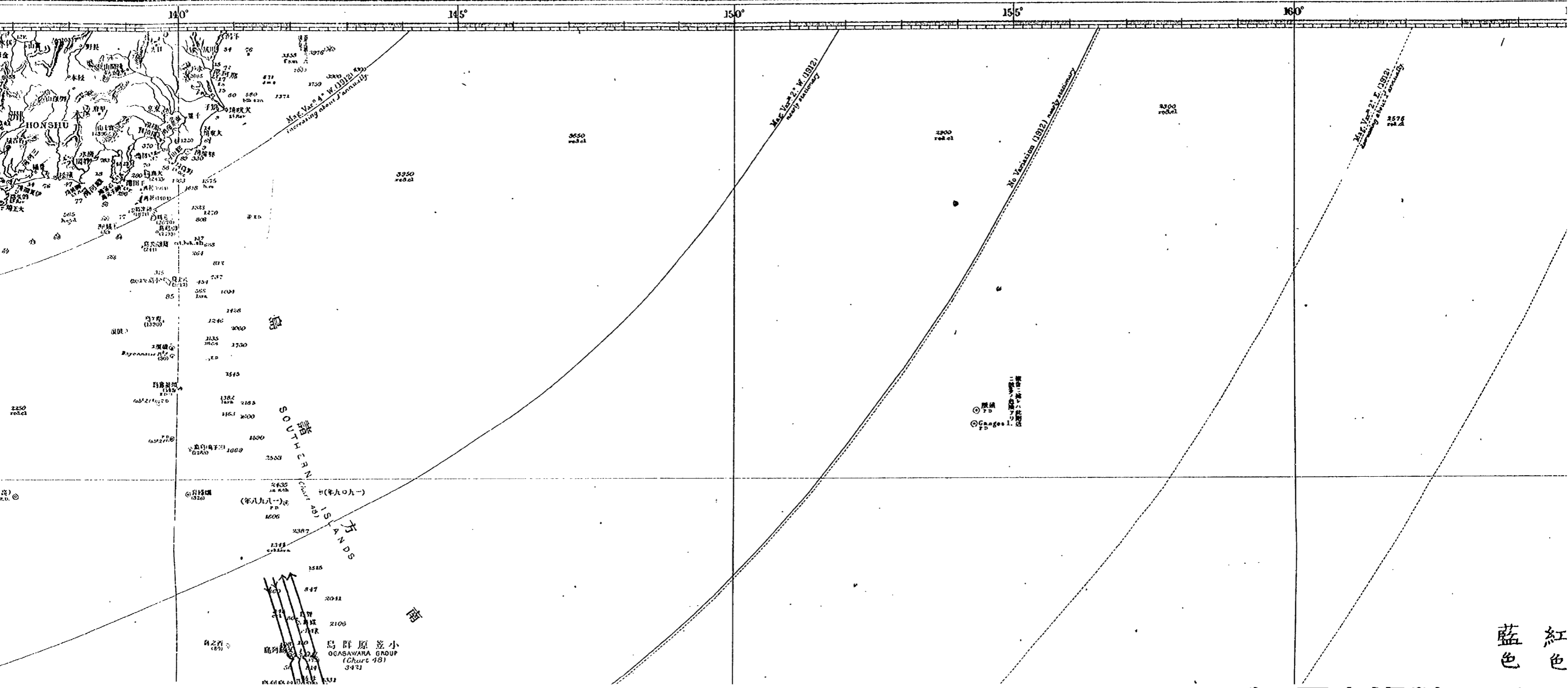
b. 藍色  
blk. 黑色  
br. 褐色  
c. 相  
cl. 粘土  
cor. 石花  
d. 暗  
f. 細  
g. 礫  
gl. 粉  
h. 堅  
lava 熔岩  
m. 泥  
naang 灣  
or. 軟泥  
p. 磁針  
r. 偏差  
s. 八  
st. 大  
t. 正  
v. 元



アジア歴史資料センター  
Japan Center for Asian Historical Records  
http://www.jacar.go.jp/

PACIFIC OCEAN NORTH WEST SHEET

部 西 北 洋 平 太

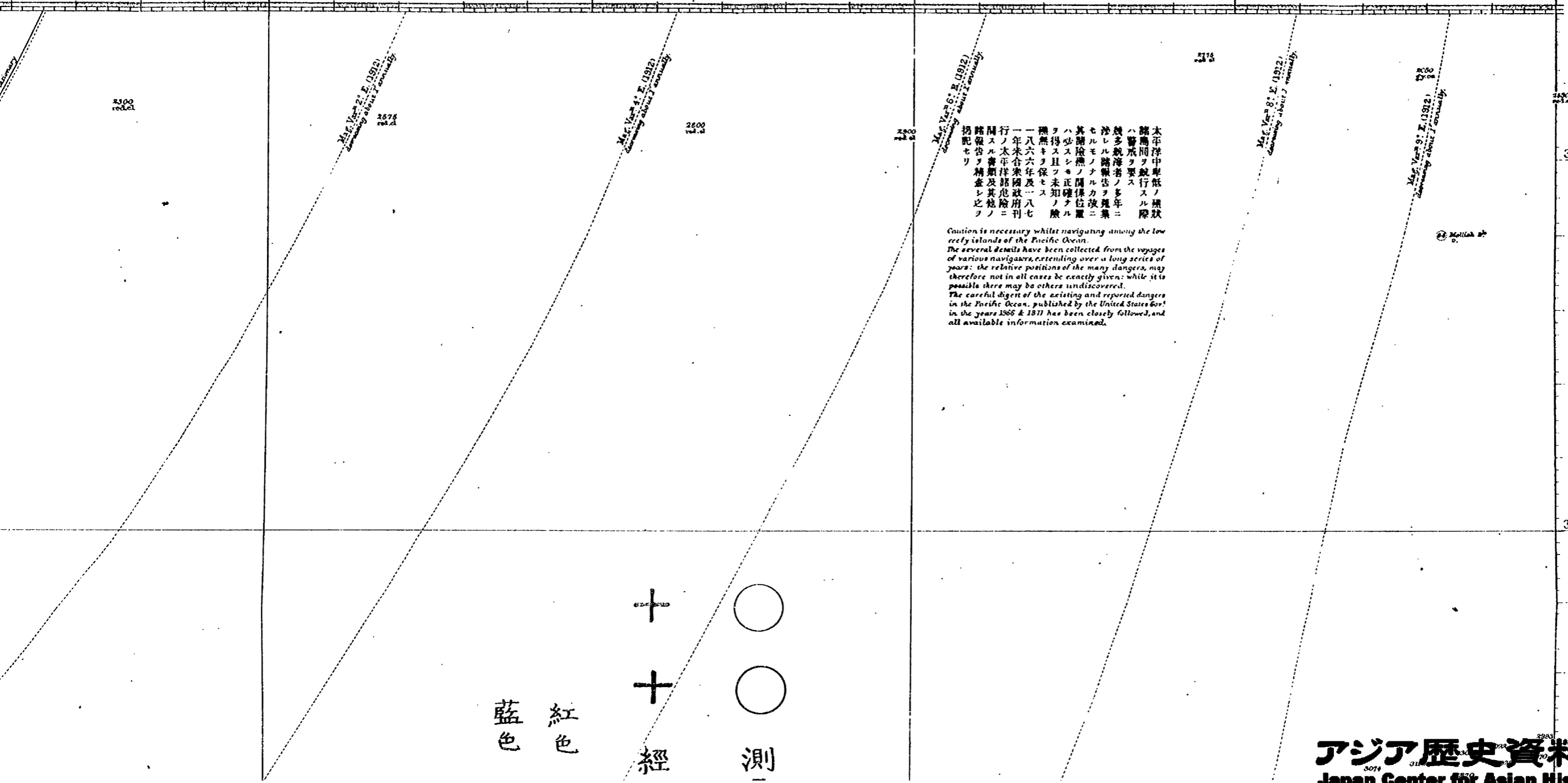


藍色 紅色

# 太平洋

All heights are expressed in feet above sea level.  
 Magnetic Variation in 1912.  
 SOUNDINGS IN FATHOMS  
 The principal sea lights are also shown on this chart.

160° 165° 170° 175° 180°

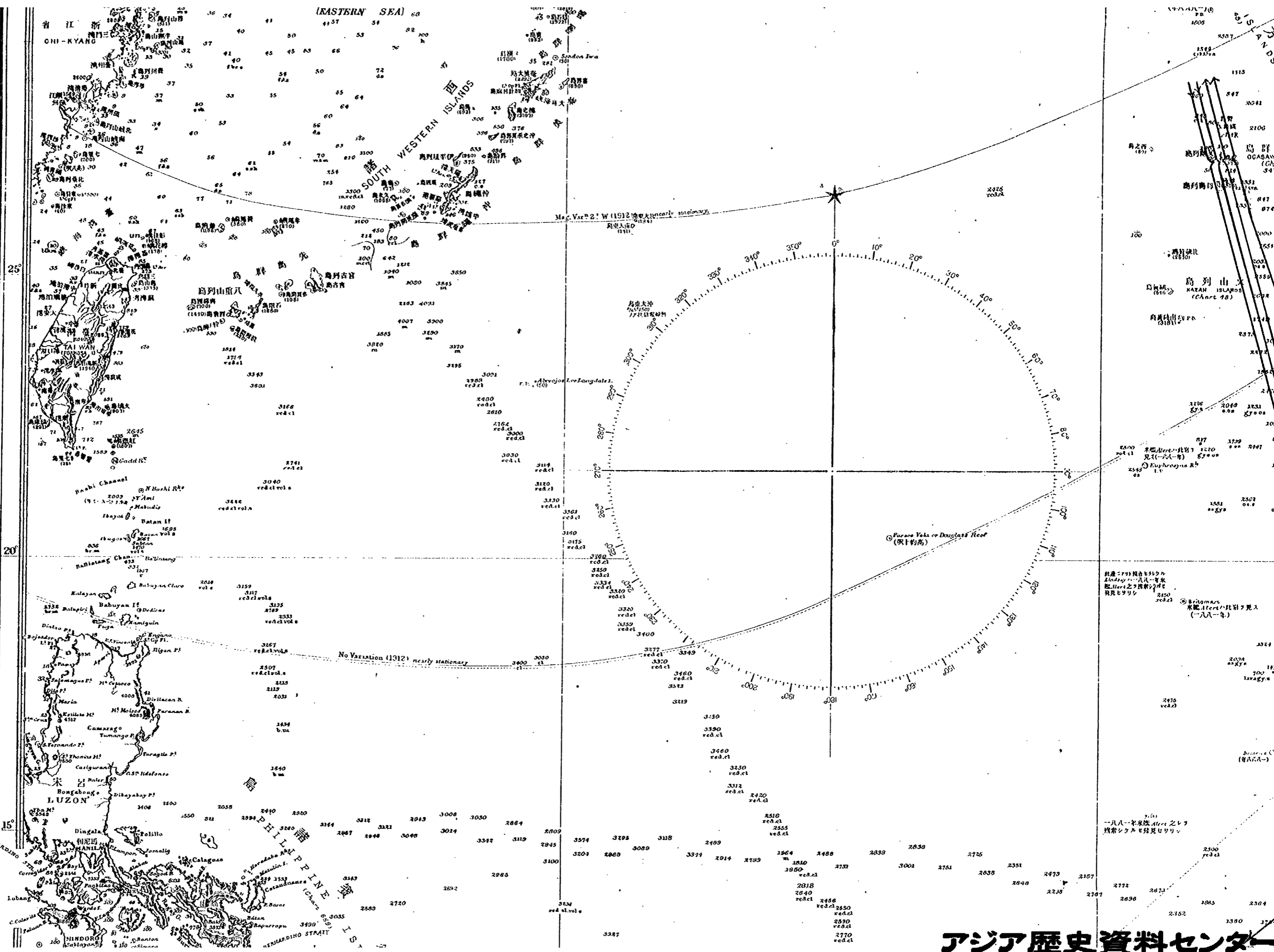


太平洋中東航路ノ危險ニ  
 關スル報告ヲ多クニ  
 行ハシメテ其ノ危險  
 一八六六年及一八  
 一年未合衆國政府  
 行ノ太平洋諸國及  
 諸報告ヲ精査シ  
 揚記セリ

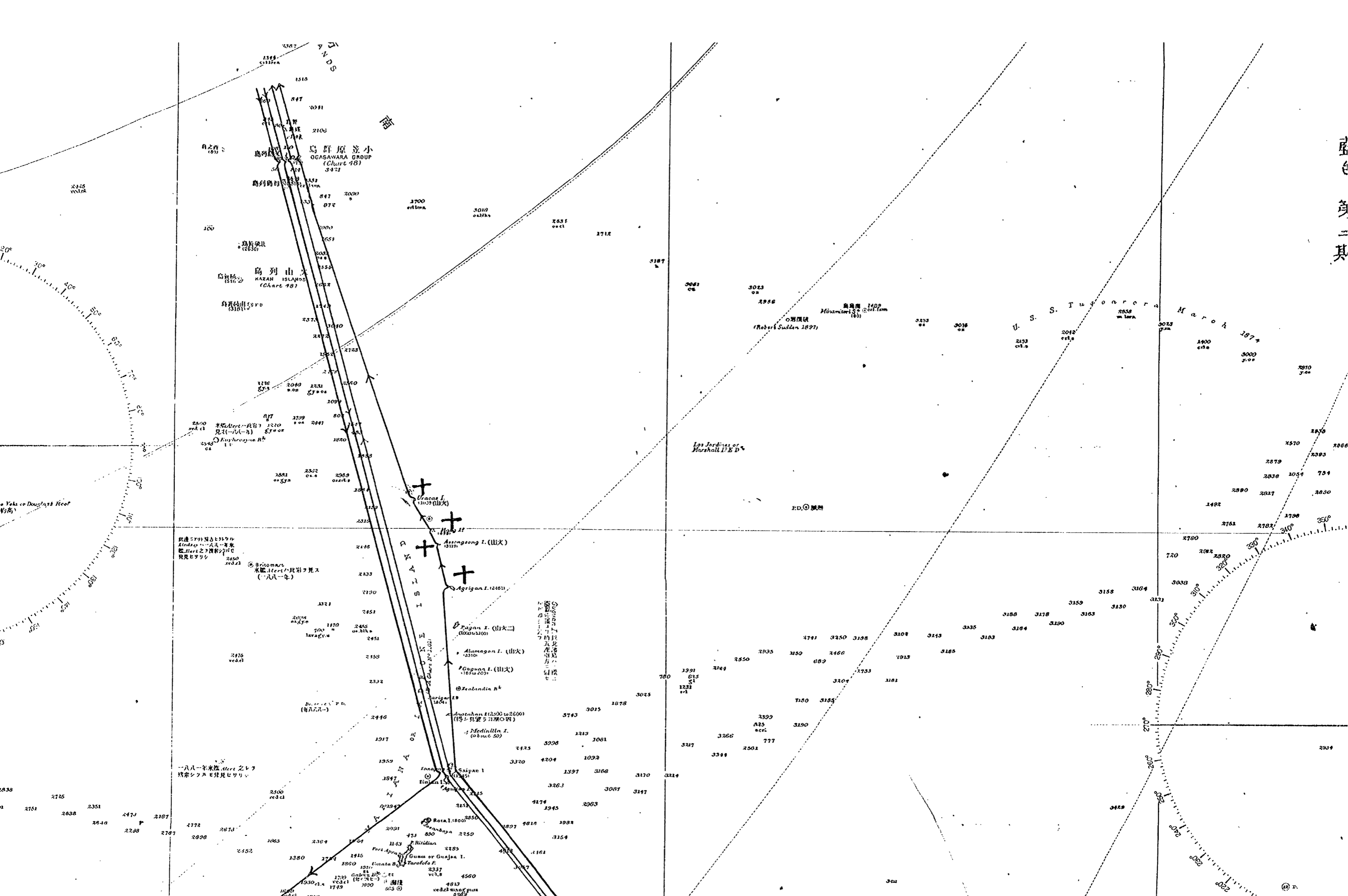
Caution is necessary whilst navigating among the low  
 reefs islands of the Pacific Ocean.  
 The several details have been collected from the voyages  
 of various navigators, extending over a long series of  
 years: the relative positions of the many dangers, may  
 therefore not in all cases be exactly given: while it is  
 possible there may be others undiscovered.  
 The careful digest of the existing and reported dangers  
 in the Pacific Ocean, published by the United States Govt  
 in the years 1866 & 1877 has been closely followed, and  
 all available information examined.

藍色 紅色  
 經 測

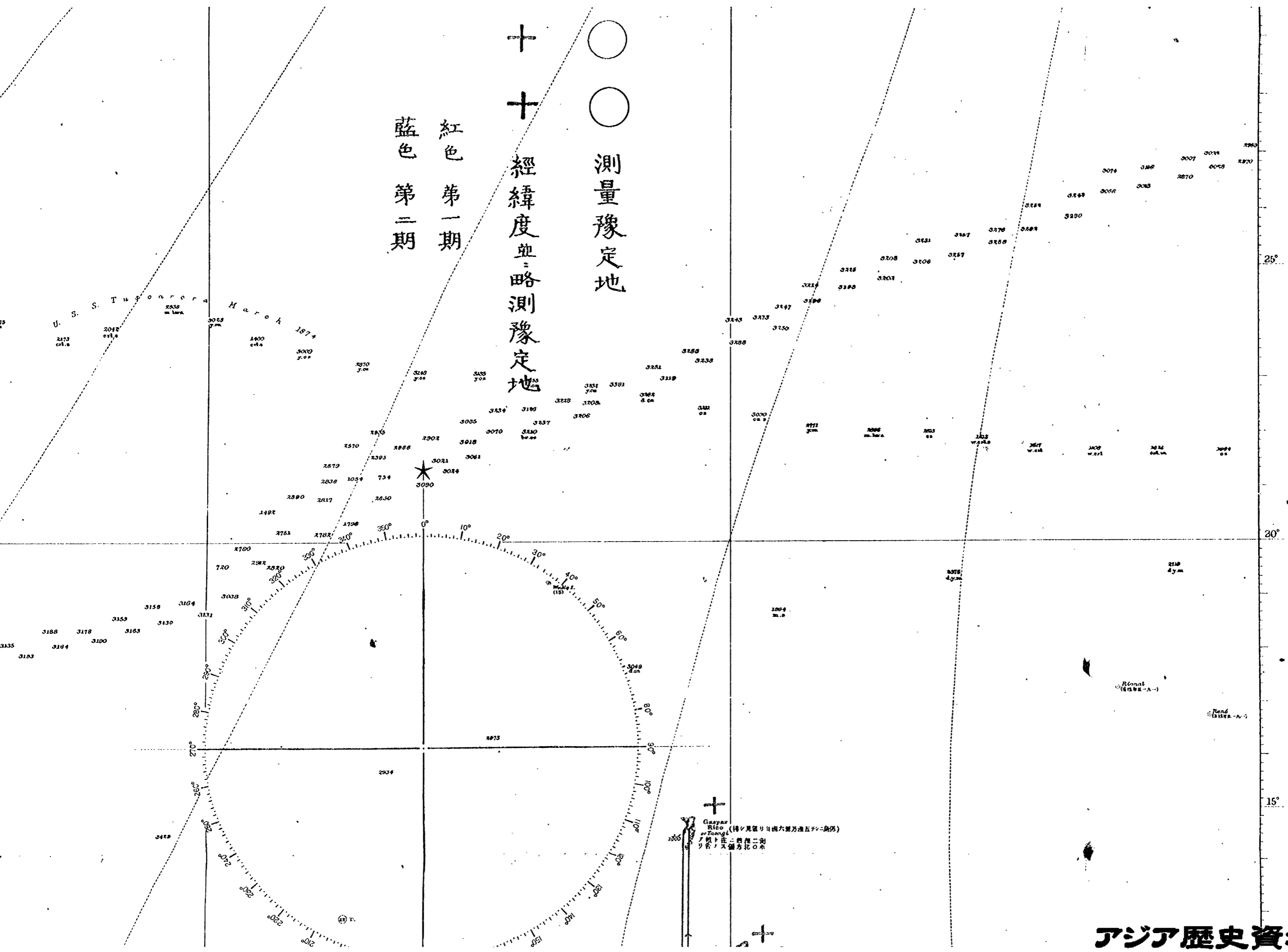
石花糖、暗礁、細砂、泥、濁、流、或、軟、泥、磁針、偏、差、大、正、元、年、ノ、算、定、圖、中、ニ、掲、ク、ル、諸、燈、臺、ハ、唯、要、所、ニ、止、マ、ル、山、質、白、色、子、黄、色





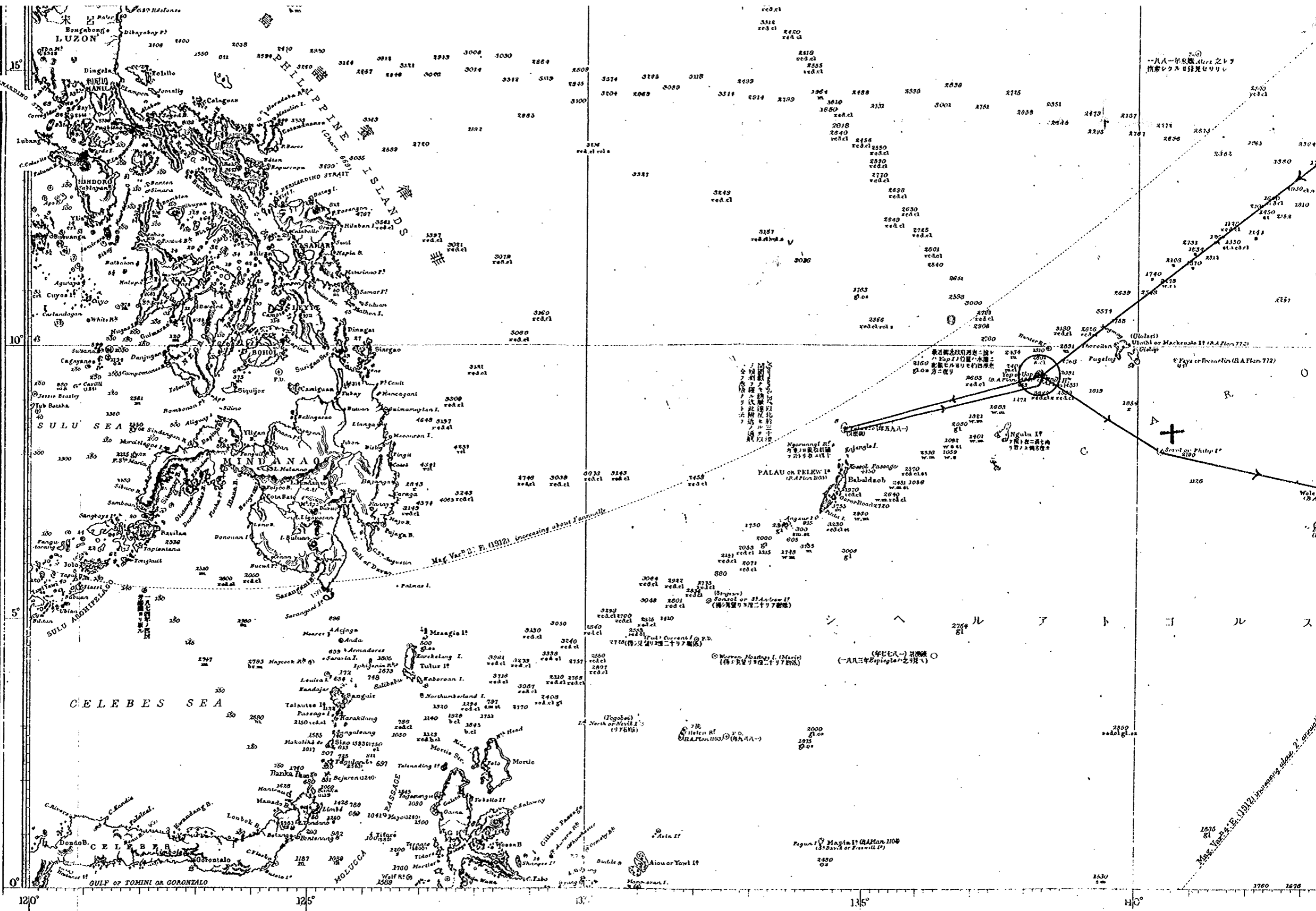


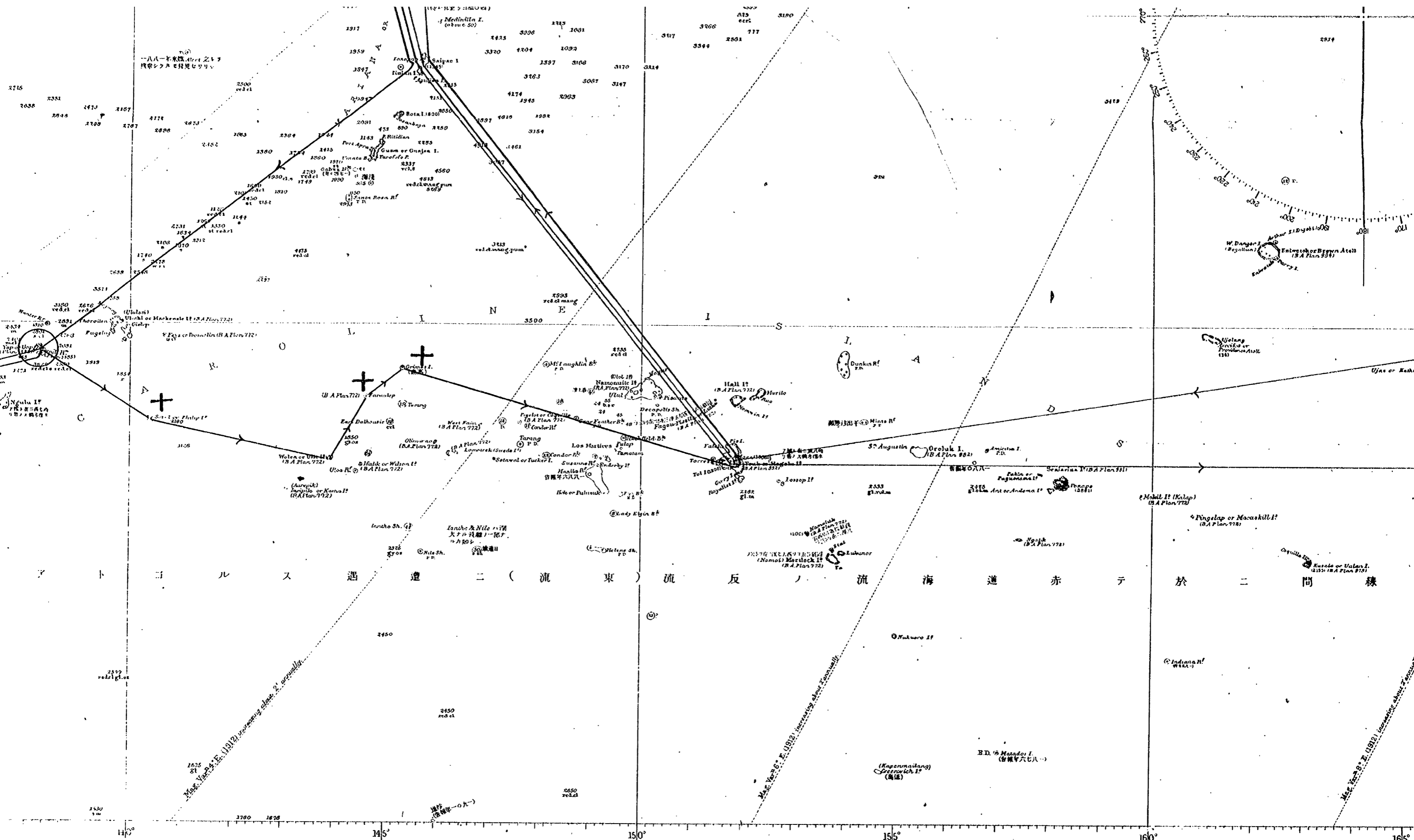
島嶼  
第二其



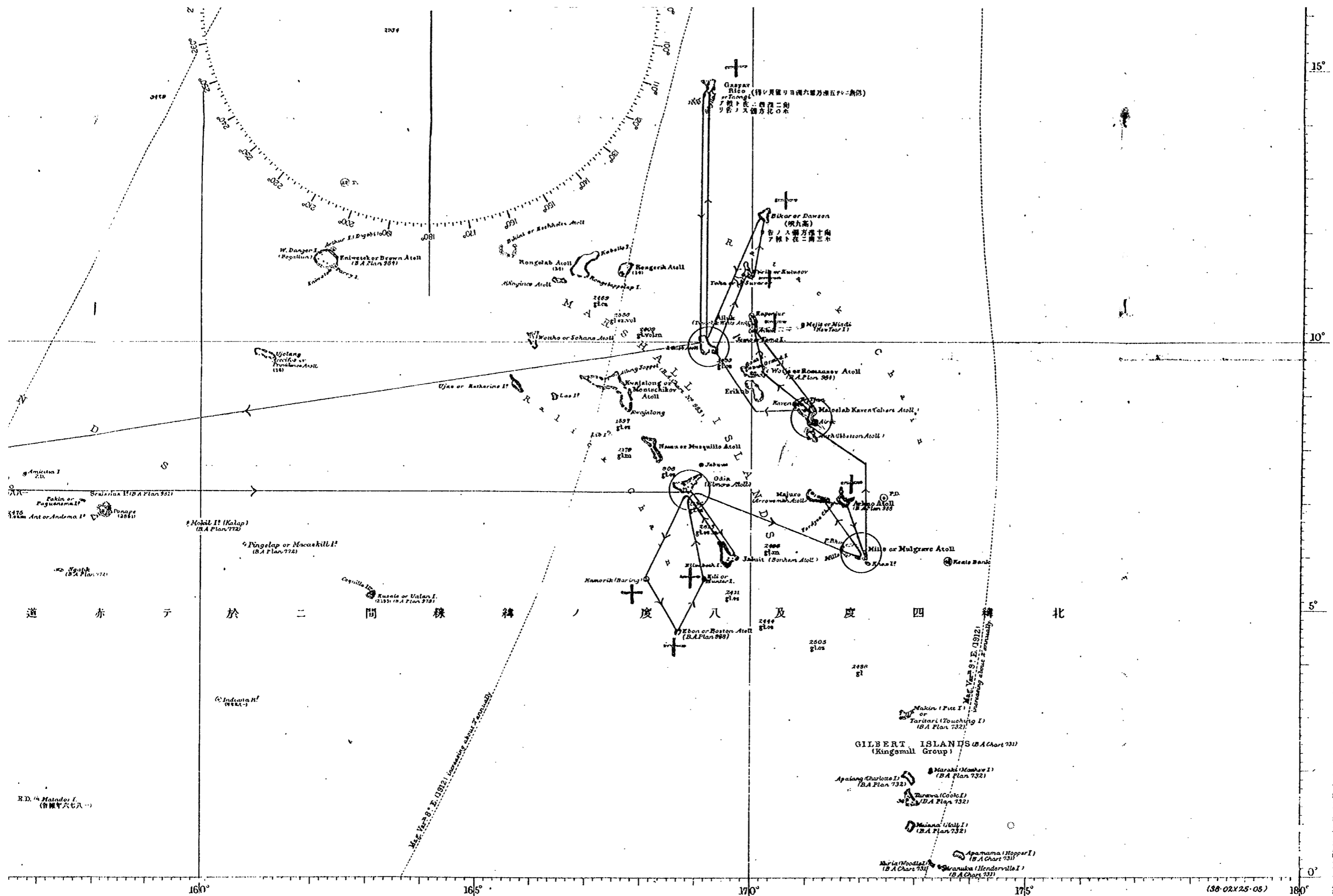
大正三年八月十一日水路部ニ於テ刊行ス 水路部長 江口麟六

第八百號





Tokyo. Published at the Hydrographic Office, 11<sup>th</sup> August 3<sup>rd</sup> Year of Taishō (1914), under the Superintendence of Rear-Admiral H. Yeguchi, Hydrographer.



道 赤 赤 於 二 間 緯 緯 度 八 及 度 四 緯 北

五八八  
七ノ八  
五ノ二  
五ノ八  
五ノ六  
一ノ四  
九ノ五  
大正四年二月  
小徳正

社合式海図日本 地巻一第 一第 海図 所製 海図 行製 日七十月九年三正大

(36-02X25-05) No. 800

八四一  
松江訓令  
附圖

大正四年四月廿六日  
水機部五〇号  
二附圖

軍務部  
機密第一七二號

軍務局  
發  
八四二日

0034

軍務  
機密 第二八八號

此は  
海軍  
機密

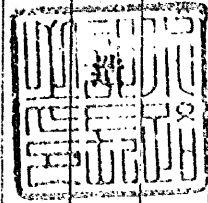
海軍  
機密

水機密  
第七號

大正八年五月廿二日

水路部長 布 官 滿

軍務局長 井出謙治殿



測量ニ付第三艦隊派遣部隊ト連絡ニ關スル件

測量艦船及測量班ノ撥護並ニ第三艦隊派遣部隊ト連絡其他ニ關スル件ニ

付左記事項ハ測量艦大和武藏兩艦長測量船膠州指揮官及各測量班責任官

へ通達致置候

右申進ス

左記

一官房機密第四五號ノ三海軍次官ヨリ水路部長宛大正八年度測量ニ關

スル件

(水路部)

軍務  
機密

濟録目 0035





軍務局

大正八年 五月 三日

清水水路部會計課長

海軍省 副官 坂

別城 野文 海防 備隊 司令官 宛 打電方

右取 針 古 郵 局

右取 頼 久

別城 野文 海防

第三課

第一課

六月三日 午後四時五分 發

海

軍

管房

付安月番

0037  
0038

Handwritten notes and stamps in a box, including a circular seal and vertical text.

軍務局

大正八年一月三日

清水水略

海軍省副官

別紙 野文 防備隊

由取 針 古 新 旨

右 係 暫 久

別紙 系 係 付

第二課 係 係

第一課

Tanker 船主  
佐藤國商店

田 嶋 信 一

神戸市海岸通二丁目三番  
電話三宮園 二七七六  
一九六六 七六

六月三日 午後五時五分 發

海軍省 官房 係

0037  
0038

昭和三十二年南洋群島防衛隊司令部宛

水陸部長

最上今回、係中「カロリン」方面未測量地ノ測量  
ニ從事ス様御座屬ク得テ委細書面。最上  
船長ニ直接依頼ス

海軍

0039

軍務局長

水路部

軍令部

軍務第三三四號

大正八年六月五日

井出海軍省軍務局長殿  
加藤横須賀鎮守村參謀長

第二課長  
送標新設ノ件

名 稱 置 著 色 構 造 右 面 上 高 記 事

右 通 報 欠  
但目標 艦艇位置圖 艦隊等巨勝場及箱崎 但別高ノ通 白 鉄筋三ノト 二十尺

第一班 別 面 一 葉 添

第三班

郵路 8.6.1 受領

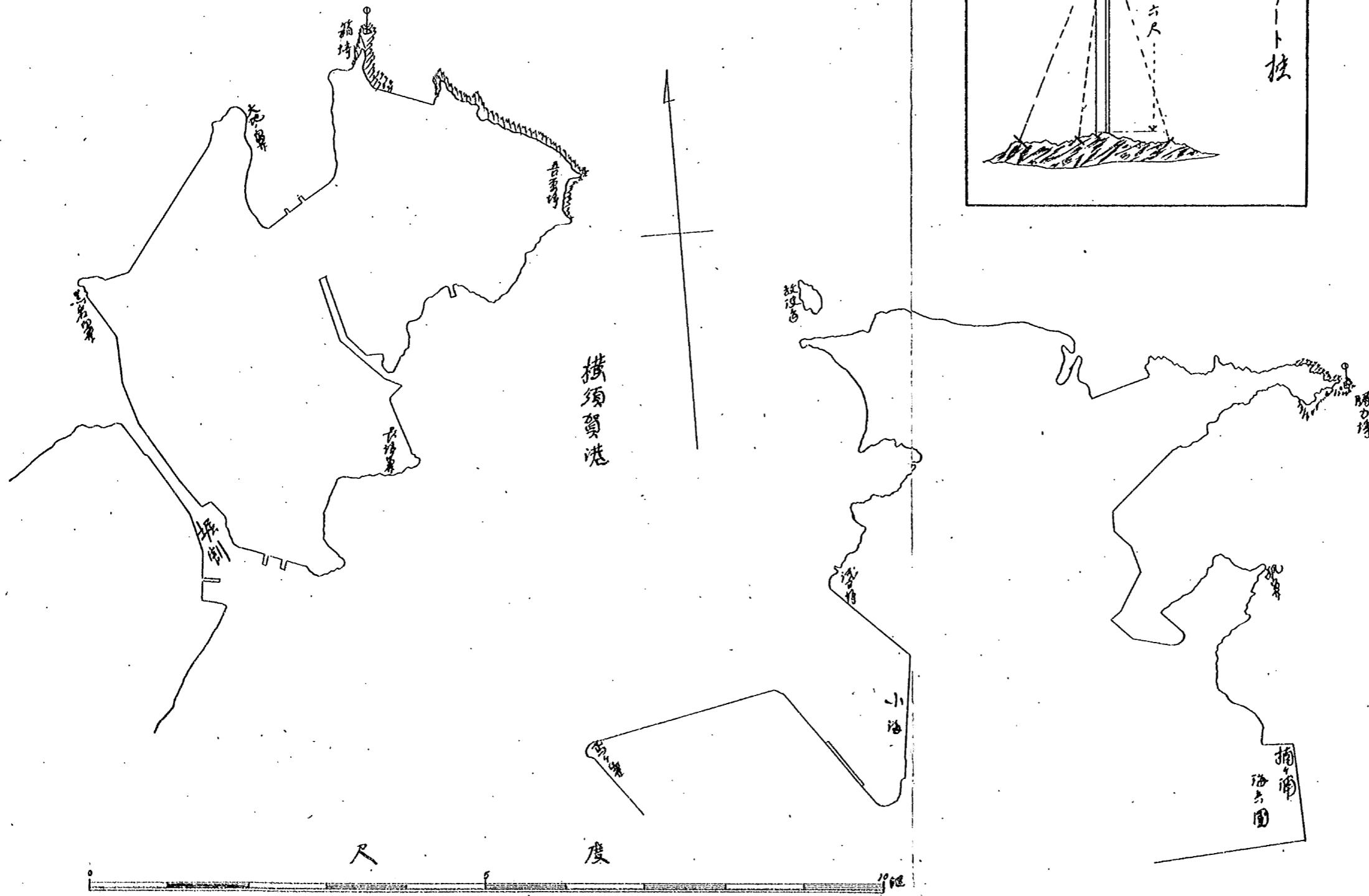
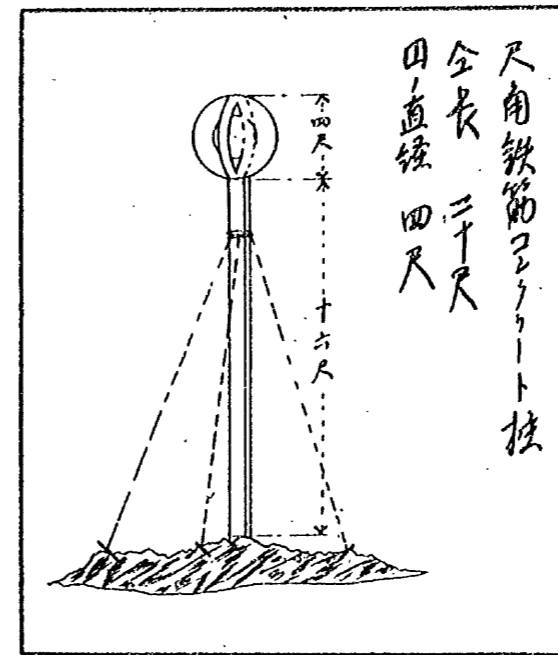
海 軍

部令 6.7 受領

0040

水路軍機乃武老長船老方田○字

維尺老百四番分一



0041



航工第一五〇五號

通 牒

大正八年六月二日

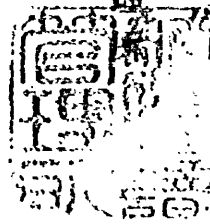
# 軍務局

海軍省軍務局 第一課 御 申

航路標識新設ノ件

第二課 牧

航路標識管理



軍務局 接受

日 資 六 〇

0043



當所大正八年度新營事業トシテ目下建築工事中ノ航路標識ハ左記ノ通り有之右ノ内嶺山脚燈臺ヲ除クノ外ハ孰レモ年内又ハ八年度内完成務點燈及務備開始ノ見込ニ有之豫テ御参考ニ供ヘ候也

## 水路部

標 識 名

記 録 位

置 構造等級大要

チキウ脚燈臺

北 海道室蘭港外

コンクリート造 (第三等)

嶺山脚燈臺

能 登北西端

同 又第二等

嶺ノ塔燈臺

安 房南西端

同 (第四等)

大根柱燈浮標

室 蘭出口

同 鋼造大型 (第四等)

嶺塔燈臺

佐 波北東端

同 コンクリート造 (第四等)

軍第二八八號



航路標識急設必要箇所ノ件

大正八年五月十五日

軍務局

本件ニ關シ航路標識管理所ノ照會ニ對シ當局ヨリ別紙ノ通大正七年七月二十四日同所宛回答シヤリ

樺太西岸氣主岬ハ七年度以來ノ繼續工事トシテ八年度ニ於テ竣工、洲崎及蘆、  
八年度起工年度内ニ竣工、能登猿山岬ハ八年度起工九年度竣工豫定ナリ、  
九年度以降ノモノハ逡信省ニ於テ未夕決定セサルモ坊ノ岬燈質變更ハ九年度豫算ニ計上スルコトナリ、  
尾レリト云フ



航路標識  
 順位 位置 地方名 急設必要箇所

一	洲崎	安房	
二	鳥島(駮驪)	五島南西	
三	沖島南西端	伊豫	
四	草垣島	大隅群島	
五	久六島(駮驪)	陸奥	
六	大間崎(北群島)	今右	
七	白石(燈台標)	未島海峡	
八	六島	備後灘	
九	三石	安藝灘	
一〇	横島西端	高瀬群島南	
一一	中知床岬	樺太	

軍事行動に必要上并商船  
 航路に安全ヲ出来得ル限リ確保スル為  
 以下皆今シ

二四	二三	二二	二一	二〇	一九	一八	一七	一六	一五	一四	一三	一二
妹島	見島南端	石積ノ鼻	大神島	舳倉島	遇岩	田島	大島 <small>(津輕海峡西口附近)</small>	龍飛崎	小根古崎	禮文島金田崎	喜志鹿崎	黃島
母島列島	長門	八丈島	宮古列島	能登	旅順沖	大連沖	北海道	陸奥	鹿兒島灣	北海道	種子島	五島ノ南方

二五	高井神島	備後灘
二六	彈崎	佐渡
二七	安島崎	越前
二八	久米島西端	沖繩島北西
二九	都井崎	大隅
三〇	天狗鼻	薩摩西岸

備考

右外至急坊岬燈臺、光達距離ヲ増大  
 セシメラレ度件、大正六年十一月二十日官房第三  
 五六〇號ヲ以テ尚洲ノ埼燈台新設ハ大正五年  
 十二月官房第三五七五號ヲ以テ海軍次官ヨリ遞  
 信次官宛照會、次第モヤリ考慮セラレ度

終

0048

**アジア歴史資料センター**

**Japan Center for Asian Historical Records**

<http://www.jacar.go.jp/>